

日本生体医工学会 平成22年度 第2回理事会 議事録

日時： 平成22年7月29日 14時～17時

場所： 学士会館 302

出席者

会長	副会長		理事												監事	監事	幹事		支部長					事務局		
田村	砂川	千原	阿部	生田	石原	小笠原	佐久間	杉町	千田	土肥	林	堀	牧川	湊	山越	山家	菊地	橋爪	中村	大城	河原	松田	岩田	楠岡	梶谷	徳山
俊世	賢二	國宏	裕輔	幸士	謙	康夫	一郎	勝	彰一	健純	紘三郎	正一	方昭	小太郎	憲一	智之	眞	誠	亮一	理	剛一	兼一	彰	英雄	文彦	久美子
○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○

配布資料

- 22-2-2 平成22年度第1回理事会議事録(案)
- 22-2-3 平成22年度第2回理事回入退会審査対象者
- 22-2-4-1 今年度会計報告に向けた財務からのお願い(重要)
- 22-2-4-2 意見書
- 22-2-5 社団法人日本生体医工学 平成22年度広報委員会
- 22-2-6 社団法人日本生体医工学 平成22年度国際委員会
- 22-2-7 社団法人日本生体医工学 平成22年度ME研究推進委員会
- 22-2-7-1 ME技術研究委員会(案)
- 22-2-7-2 第16回第1種ME技術実力検定試験
- 22-2-7-3 石原先生からのメール
- 22-2-8 社団法人日本生体医工学 平成22年度FMBE編集委員会
- 22-2-9 社団法人日本生体医工学 平成22年度クリニカルエンジニアリング委員会
- 22-2-10 社団法人日本生体医工学 平成22年度医用生体工学研究所設立準備委員会
- 22-2-11-1 社団法人日本生体医工学 平成22年度教育委員会
- 22-2-11-2 第8回生体医工学サマースクール申し込み状況
- 22-2-11-3 第9回サマースクール
- 22-2-11-4 ME教科書シリーズ進捗状況表
- 22-2-11-5 新教科書シリーズの概要の検討を開始したい
- 22-2-12-1 編集委員会委員(案)
- 22-2-12-2 編集委員会報告 本誌の論文査読状況
- 22-2-12-3 編集委員会報告 他学会の編集方法の調査
- 22-2-12-4 編集委員会報告 英文誌の在り方について
- 22-2-13-1 社団法人日本生体医工学 平成22年度選奨委員会

- 22-2-13-2 平成 22 年選奨委員会
- 22-2-14 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度医療技術開発推進委員会
- 22-2-15 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度生体医工学連絡委員会
- 22-2-16 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度 50 周年記念大会講演会 WG
- 22-2-17 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度定款改定 WG 委員会
- 22-2-18 平成 22 年度選挙実施スケジュール
- 22-2-19 社団法人日本生体医工学会
電子メールを利用した関連他学会開催案内等の協力に関する取扱基準
- 22-2-20 生体医工学シンポジウム(JBMES2010)第 1 回組織委員会議事録
- 22-2-21 科学研究費補助金
- 22-2-25-1 日本生体医工学会における NEDO セッションに関して
- 22-2-25-3 平成 22 年度日本生体医工学会理事会日程について

議事

1.理事会成立の件(総務 湊)

定款に定める要件を満たしている(理事出席 14 名/19 名)ことを確認して理事会成立を宣言した。

2.前回議事録承認の件(審 総務 湊 資料 22-2-2)

事務局より提出された議事録が前々回議事録だったため、後日、メールでご確認頂くこととした。

3.入退会状況の件(審・回覧 会員 資料 22-2-3)

入会 : 正会員 16 名 準会員 1 名

退会 : 正会員 22 名 準会員 6 名

逝去 : 正会員 2 名

会員資格等変更: 準会員(準->正) 2 名

承認された。

4.今年度会計報告に向けた財務からのお願いについて(審 阿部・千原 資料 22-2-4-1)

生体医工学会は一般社団法人になるので、支部会、専門別研究会、生体医工学シンポジウム、サマースクール等も学会本部の事業となるので、各々の資産、繰越金、全収支等は本部の連結決算として報告する。なお、これらは 10 年の保存義務がある。

生体医工学シンポジウムは本年度から学術集会事業(公益事業)にして本部事業にする。

- ・会計処理は学会大会と同様の処理
 - ・理事会で開催支部を決定(今年度は組織委員会の決定を追認)
- 但し、従来同様に、組織委員会、実行委員会、プログラム委員会で実施する。
- ・組織委員会の委員長は本部理事をあてる(副会長の職責担当としても良い)
 - ・実行委員長が大会長となる
 - ・実行委員会に財務担当者を置く
 - ・プログラム委員長は特集号の編集委員長になる

繰越金に関しては、本部へ返金するか、基金の形にするかは、継続審議とする。

今年度のシンポジウムは 9 月開催であるため、組織替えはしない。

平成 22 年度予算は既に総会で承認済みであるため、シンポジウムの予算計上はされていないが、会計報告については平成 22 年度決算から報告して頂く。

サマースクールは他学会との協力事業であるので、剰余金や赤字の処理に関する申し合わせを他団体とする必要がある。

5.監査に関する検討事項(審 阿部・千原 資料 22-2-4-2)

公認会計士からの意見書が改めて提示され、支部と専門別委員会の繰越金は本部に返還する必要はないが、全ての繰越金を含め報告して頂きたい旨阿部財務担当理事より依頼があった。

ME 技術試験は学会本部が試験事務局に委託しているが、会計に関しては承認ルールや経費精算書の書式について検討して頂き、次回の理事会で報告することとなった。

平成 22 年度予算に関しては A3 縦長に記載した様に、学術集会、支部、セミナー、試験事業、専門別研究会等に関係する事業の、全ての収支を記載することとなる。
その旨を財務担当理事より通達をする必要がある。

6. 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度広報委員会(審 山越 資料 22-2-5)

資料の通り、委員案が提示され承認された。なお、各委員の所属先の中には古い所属が記載されていることが指摘されたため、各委員長が新所属を把握している場合には、新所属を事務局に連絡し、修正することとする。

7. 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度国際委員会(審 佐久間 資料 22-2-6)

資料の通り、委員案が提示され承認された。各委員の所属先については、委員長が確認し、修正があれば事務局に連絡する。

8. 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度 ME 研究推進委員会(審 石原 資料 22-2-7-1)

資料の通り、委員案が提示され承認された。各委員の所属先については、委員長が確認し、修正があれば事務局に連絡する。

9. 第 16 回第 1 種 ME 技術実力検定試験(報 石原 資料 22-2-7-2)

第 16 回第 1 種 ME 技術実力検定試験の結果に関する報告があった。
360 名受験、
総合合格者 85 名 組み合わせ合格者 16 名を含む
ME 基礎論合格者 12 名
ME 機器論合格者 39 名
問題の内容等は例年と同様で、妥当であったとの報告がなされた。

10. 石原先生からのメール (石原 資料 22-2-7-3)

安全ガイドブックについては将来的には作成するが、一旦、仕切りなおすこととする。

11. 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度 FMBE 編集委員会 (審 牧川 資料 22-2-8)

資料の通り、委員案が提示され承認された。各委員の所属先については、委員長が確認し、修正があれば事務局に連絡する。

12. 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度臨床エンジニアリング委員会
(審査 石原 資料 22-2-9)

資料の通り、委員案が提示され承認された。各委員の所属先については、委員長が確認し、修正があれば事務局に連絡する。

13. 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度医用生体工学研究所設立準備委員会
(審 佐久間 資料 22-2-10)

名称は「医用生体工学研究所設立準備委員会」を「医用生体工学研究基盤検討委員会」と変更することが承認された。委員会の目的を研究所設立から研究基盤を検討することとした委員会とする。委員構成は再考する必要があるれば改めて提示する。

14. 社団法人日本生体医工学 平成 22 年度教育委員会 (審 牧川 資料 22-2-11-1)

資料の通り、委員案が提示され承認された。各委員の所属先については、委員長が確認し、修正があれば事務局に連絡する。

15. 第 8 回生体医工学サマースクール申し込み状況 (報 牧川 資料 22-2-11-2)

参加者等に関する報告があった。

学生は 16 名が 15 名に減、一般は 5 名。

16. 第 9 回サマースクール (報 牧川 資料 22-2-11-3)

第 9 回サマースクールの担当者、担当学会等に関して報告があった。

来年は東京農工大 榊田先生ご担当

17. ME 教科書シリーズ進捗状況表 (報 牧川 資料 22-2-11-4)

ME 教科書シリーズは今回で終了とする

ME 教科書シリーズに関して、現時点での、発行済、継続、中止に関する報告があった。

福祉工学はコロナ社の担当者から連絡が来ていないので中止とするか否かについては、改めて確認する。

18. 新教科書シリーズ (報 牧川 資料 22-2-11-5)

新教科書シリーズに関して提案があった。

NEDO の技術戦略マップでは 31 分野あるが、バイオテクノロジーの 16 から 19 分野、特に、17 の医療機器に関して詳細な説明があった

19. 編集委員会委員 (報 牧川 資料 22-2-12-1)

資料の通りに提案された。

放医学研究所の木村先生を副委員長に就任頂くことが承認された。

田村先生に顧問に就任頂くこととした。

長倉先生 (大阪電気通信大学)、野村先生 (大阪大学)、中島先生 (富山大学) を委員に追加する。

20. 編集委員会報告 (報 牧川 資料 22-2-12-2)

本誌の論文査読状況に関して報告があった。

2009 年 8 月以降

本誌(シンポジウムを除く)の状況の報告

21. 編集方法に関して (報・審 牧川 資料 22-2-12-3)

他学会の編集方法に関して以下の様な報告があった。

- ・ 査読者を増やした方が良い
- ・ 生体医工学の査読は厳しい
- ・ 他学会との採択率を比較すると、生体医工学会 50%、通信学会 50%、機会学会 70%・・・
また、他学会の査読方法に関して調査を行いたい旨申出があり承認された。

22.編集委員会報告(審 牧川 資料 22-2-12-3)

英文誌の在り方について以下のような議論が行われた。

- ・学会誌を英語化する
- ・日本語での論文に意味がある
- ・M系とE系で温度差がある
- ・著作権 copyright の問題
- ・英文誌の発行
- ・生体医工学会のグローバル化
- ・HPの英語化
- ・生体医工学会の活動が海外で知られていない
- ・アジア誌にする
- ・ネットの検索に引っかかるようにする

今後も継続して審議することになった。

23.平成22年度選奨委員会(審 小笠原 資料 22-2-13-2)平成22年選奨委員会

各選定委員長が承認された。

各選定委員については改めて選定委員長に指名して頂き、持ち回りにて承認頂くこととする。

24.平成22年度医療技術開発推進委員会(審 菊池 資料 22-2-14)

資料の通り、委員案が提示され承認された。各委員の所属先については、委員長が確認し、修正があれば事務局に連絡する。

25.平成22年度生体医工学連絡委員会(審 林 資料 22-2-15)

資料の通り、委員案が提示され承認された。各委員の所属先については、委員長が確認し、修正があれば事務局に連絡する。

26.平成22年度50周年記念大会講演会WG(審 田村・土肥 資料 22-2-16)

資料の通り、委員案が提示され承認された。

記念大会に関して進捗報告があった。

特別講演は4名の予定。

安田講堂が使えない日があるそうである。

国内および海外における各10年の進歩をアルバムの的に紹介してはどうかという提案があった。また、50年後、100年後の予想をまとめてはという案もあった。

51回大会の大会長として、橋爪先生が承認された。

27.平成22年度定款改定WG委員会(審 楠岡 資料 22-2-17)

資料の通り、委員案が提示され承認された。各委員の所属先については、委員長が確認し、修正があれば事務局に連絡する。

28.平成22年度選挙実施スケジュール(審 湊 資料 22-2-18)

選挙管理委員長として、非改選の理事名簿が提示され、生田理事が委員長に推薦され承

認された。また、若干名の幹事と、委員を選ぶことになった。

被選挙人に関する情報

- ・ M/E 系
- ・ 所属支部
- ・ 国内在中 / 海外在中の人
- ・ 企業/非企業

を HP に記載し、訂正期間を与える。

記載に関しては、郵便で伝える。なお、投票は締切日必着とする。

また、今後の選挙スケジュールに関して報告があった

29.電子メールを利用した関連他学会開催案内等の協力に関する取扱基準

(審 田村 資料 22-2-19)

電子メールを利用した関連他学会開催案内等の協力に関する取扱基準において、第 2 条に

「かつ参加費が無料である会議等を」を削除する。

「非営利の会議および求人情報等」を追加する

題名に「求人情報」を付け加える。

教員公募は HP 上だけでなく、メール配信もする

30.生体医工学シンポジウム(JBMES2010)第 1 回組織委員会議事録 (報 千原 資料 22-2-20)

生体医工学シンポジウム 2010 に関して報告があった。

また、生体医工学シンポジウム 2011 は甲信越で行われる。

この際、理事会で大会長を承認する必要がある。

31.科学研究費補助金 (報 佐久間 資料 22-2-21)

科研費の「系・分野・分科・細目表」に関して意見募集が行われているとの報告があった。

32.第 49 回日本生体医工学大会終了の挨拶 (代：田村、報 千田)

今後、第 4 9 回大会の会計報告を含め、ご報告頂く予定である。

33.日本生体医工学会における NEDO セッションに関して (報 田村 資料 22-2-25)

日本生体医工学会と NEDO との協議事項に関して草案が提案され承認された。

34.平成 22 年度日本生体医工学会理事会日程について

平成 2 2 年度理事会日程は以下のとおりとする。

第 3 回 11 月 5 日 (金)

第 4 回 1 月 14 日 (金)

第 5 回 3 月 11 日 (金)